

(新) 航空機バイオ燃料導入推進事業(エネ特) 30百万円(0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

### 1. 事業の概要

航空機に起因する温室効果ガス排出量は、現在では国内航空のみをカウントするため運輸部門の5%弱に過ぎないが、輸送量の増加に伴う伸びが著しく、また、国際航空分は国内航空分を上回るとされている。しかも、自動車、船、電車など他の輸送手段と異なり、空気を圧縮し燃料と混合爆発させて飛ぶジェットエンジンの構造から、液体燃料を使用する以外に他の手段が無く、また、重量制限からバッテリーなどで補助する手段が困難であることから、現状ではエネルギー消費効率の向上以外には抜本的な温室効果ガス排出量の削減方策が示されていない。

これらの状況から、航空機からの二酸化炭素を削減する手段として、液体燃料としてカーボンニュートラルなバイオ燃料の使用を図る体制等を検討するなどにより、航空機からの温室効果ガス排出量の削減を図る。

### 2. 事業計画

航空機燃料としてのバイオ燃料の利用を推進するため、国内でのバイオ燃料の供給体制や社会的課題を抽出、検証するとともに、今後の航空機へのバイオ燃料導入実用化に向けたシステム構築についてフィージビリティスタディを実施し、広く成果を発信する。

	22年度	23年度	24年度	
ICAO、ASTM等の動向調査	←		→	
カメラナ、ジェットロファからのJet-A燃料製造に関する実現可能性調査	←	→		
藻類からのJet-A燃料製造に関する実現可能性調査		←	→	
総合解析・とりまとめ			←	→

### 3. 施策の効果

航空機燃料へのバイオ燃料の導入を推進し、航空機からの二酸化炭素排出量の新たな削減方策の確立を図る。

# 航空機バイオ燃料導入推進事業

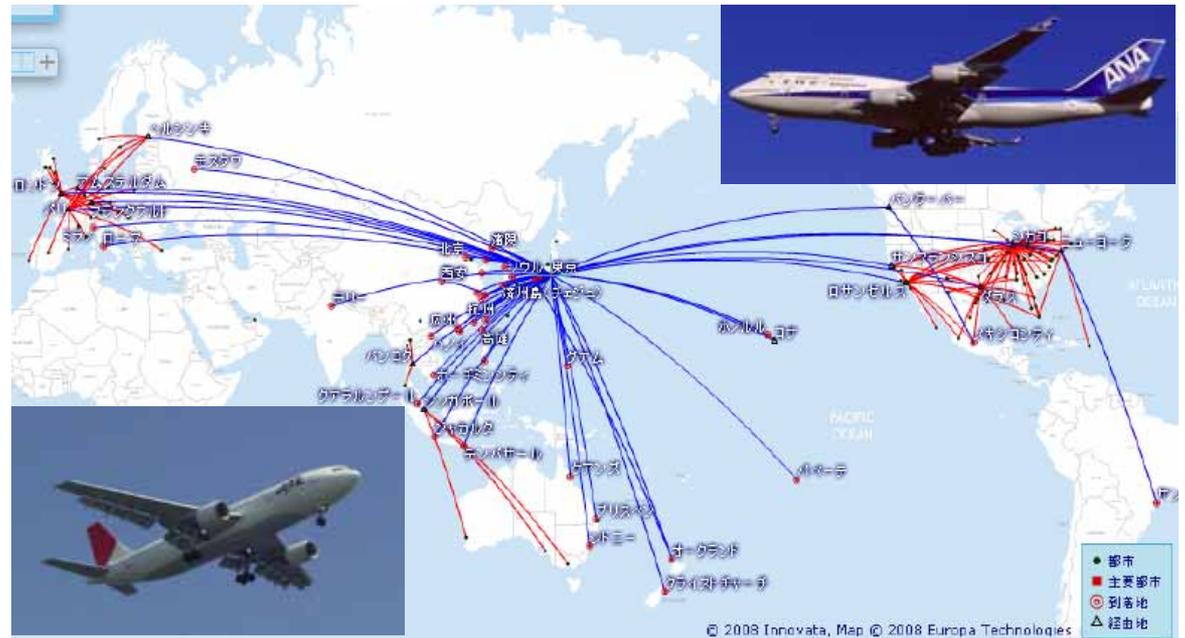
航空機燃料としてのバイオ燃料の利用を推進するため、国内でのバイオ燃料の供給体制や社会的課題を抽出、検証するとともに、今後の航空機へのバイオ燃料導入実用化に向けたシステム構築についてフィージビリティスタディを実施し、広く成果を発信する。



航空機燃料へのバイオ燃料の導入を推進し、航空機からの二酸化炭素排出量の新たな削減方策の確立を図る。



航空機への導入



非食料系バイオ燃料

世界全体での大規模な運輸部門温暖化対策